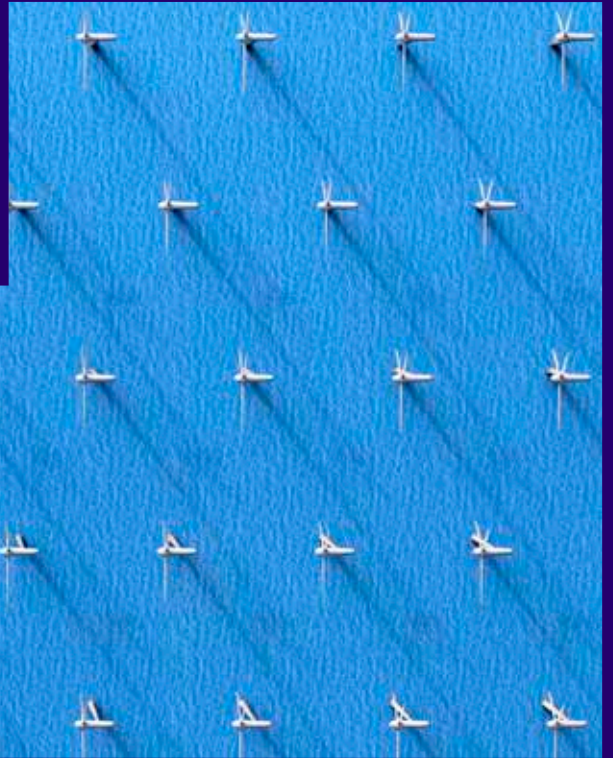


BlueXP 分類サービス



NetApp のデータ資産向け統合データ インテリジェンス。BlueXP 分類サービスは、コンプライアンスの維持、ストレージの最適化、データ移行の高速化、生成 AI や検索拡張生成 (RAG; Retrieval Augmented Generation) 向けのデータ準備のための、データに関する実用的な分析情報を提供します。

インテリジェントなデータ ガバナンスの 威力を活用

デジタル時代の今日、データはあらゆる組織の生命線です。しかし、データ ボリュームが爆発的に肥大し、環境が複雑化する中、データを管理するだけでなく、その可能性を最大限に引き出すには、どうすればよいのでしょうか。BlueXP 分類サービスは、混沌としたデータを明瞭なデータに変えるために誕生した、お客様のパートナーです。

BlueXP のコア機能である BlueXP 分類サービスは堅牢なデータ ガバナンス サービスであり、包括的な可視性、分析情報、管理機能を提供することで、NetApp 環境全体のデータをより効果的に管理できるように設計されています。高度な AI を使用してシンプルなデータ ガバナンスを実現し、コンプライアンス要件への対応、ストレージの最適化、データ移行の高速化、生成 AI や RAG 向けのデータ準備のための実用的な分析情報を提供します。

NetApp BlueXP のシンプルな分類機能により、IT、ストレージ、データ プライバシー、コンプライアンスの各チームの業務を大幅に効率化することができます。

インテリジェント データに基づきリアルタイムで意思決定

BlueXP 分類サービスは、NetApp 環境全体でデータをマッピングし、存在するデータの量や、データの保存場所、タイプ、プロファイルを明らかにすることで、データ ガバナンスの自動化を実現します。リアルタイムのデータに基づいてインテリジェントな意思決定を行えるので、手動または自動化した対応で即座にコストを最適化し、リスクを軽減できます。

データのマッピングと最適化

BlueXP 分類サービスでは、次のことが可能になります。

- NetApp ストレージ内のすべてのデータをマッピングし、視覚的なダッシュボードと詳細なデータ調査機能を通じて分析情報を取得
- 重複データのマッピングによって冗長性を確認し、最適化に向けたインサイトを獲得
- 古いデータをマッピングして、不必要なデータを特定
- ビジネスと無関係なデータをマッピングによって除去し、コストを削減
- 個人データ、非個人データ、機密データをマッピングして、権限の強化が必要なファイルを明確に把握

ファイルの形式

BlueXP 分類サービスは、スキャンしたデータをファイル形式別に分類します。特定のファイル形式で保存が不適切なものがないかを確認することで、機密データの管理強化に役立ちます。

コンプライアンスとセキュリティのリスクを迅速に発見します。

データの調査と分類

BlueXP 分類サービスには、機密情報をマッピングして管理する機能があります。

一般に、機密情報がどうかの見極めは簡単ではありません。BlueXP 分類サービスは、AI、機械学習（ML）、自然言語処理（NLP）のテクノロジーを活用して、機密性とコンプライアンスタイプに基づいてデータをカテゴリ分けして分類し、潜在的なサイバー脅威やコンプライアンス問題を常に監視して浮き彫りにします。

機密データはエンタープライズ環境では特に重要です。機密性の定義が組織ごとに異なる場合も多くあります（場合によっては、ドメインや言語によっても異なります）。機密性を正確に定義するためには、最新の AI が必須です。BlueXP 分類サービスは、従来のパターン マッチングにとどまらない多彩な処理を通じて、さまざまな種類の機密性を特定します。

個人データ

BlueXP 分類サービスは、データ内の特定の語句、文字列、パターンを自動的に識別します。

また、BlueXP 分類サービスは、個人を特定できる情報（PII）、クレジットカード番号、社会保障番号、銀行口座番号などを認識できます。個人を特定できる情報の一覧は、BlueXP 分類サービスのドキュメントで確認できます。

BlueXP 分類サービスは、調査結果を判断する際に近接検証という仕組みを利用します。見つかった個人データの近くに定義済みのキーワードがあるかどうかを判断材料にするというものです。

たとえば、オーストラリアの Tax File Number（TFN）を識別するのは、その周辺に「TFN」「Tax File」などの語句がある場合のみです。

主なメリット

すべての NetApp データを管理

- 可視化と管理のため、データをマッピング、分類、カテゴリ分け
- NetApp のハイブリッド データ資産全体でデータの健全性を維持するタスクを包括的に実施

ストレージの最適化とコストの削減

- 古いデータをアーカイブ
- 業務外のデータや重複データを特定、削除

データ移行プロジェクトを推進

- 移行向けにデータをマッピング
- クラウドに移行する前に機密データを特定

コンプライアンスを維持

- 個人情報（PII）をマッピング
- GDPR、CCPA、PCI、HIPAA などのプライバシー規制に準拠
- データ主体アクセス要求（DSAR）に迅速に対応

生成 AI や RAG 向けのデータを準備

- 結果を歪める可能性のある無関係なデータ、古いデータ、業務外のデータを検出、削除
- 重複データの特定、削除により、トレーニングの効率を高め、過度なモデルの重要視を防止
- 個人情報や機密情報を特定し、トレーニング セットや結果における不注意な使用を回避

カテゴリ

BlueXP 分類サービスは、スキャンしたデータをカテゴリ別に分類します。カテゴリの基準となるトピックの判断は、データの内容に対する AI の分析と、各ファイルのメタデータに基づいて行われます。

自社で保持している情報の種類を確認し、現在のデータの状況が適切かどうかを理解するには、カテゴリが役立ちます。たとえば、履歴書や雇用契約書などのカテゴリには、機密データが含まれている可能性があります。その結果から、セキュリティが万全ではない場所に雇用契約書が保存されていることが判明し、問題を修正できるかもしれません。

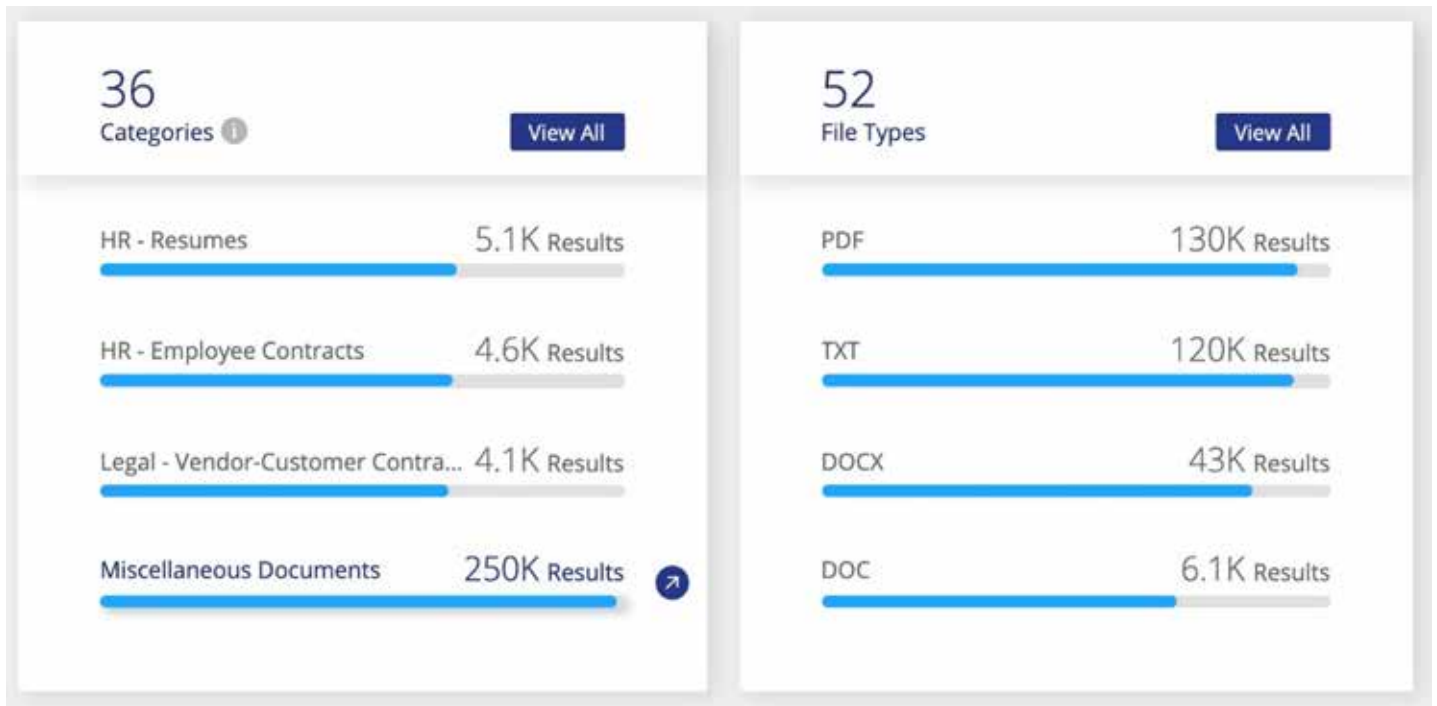


図 1 : BlueXP 分類サービスによるデータ マッピング

センシティブな個人データ

BlueXP 分類サービスは、センシティブな個人情報を自動で識別します。センシティブな個人情報とは、一般データ保護規則（GDPR）の第 9 条と第 10 条など、プライバシー保護規則で定められている特別な種類の個人情報です。たとえば、医療、民族出自、性的指向に関する情報は、センシティブな個人情報に該当します。

BlueXP 分類サービスは、スキャンしたデータの内容を理解し、要素の抽出や適切な分類を実現しています。

たとえば、GDPR でセンシティブな個人情報にあたる民族出自で言えば、「ジョージはメキシコ人だ」という文は GDPR の第 9 条が定めるセンシティブなデータに該当するのに対し、「ジョージはメキシコ料理を食べている」という文は該当しません。BlueXP 分類サービスは、自然言語処理技術を使って、この違いを区別します。

データ主体アクセス要求に数分で対応

BlueXP 分類サービスでは、DSAR への対応として、データ主体のフルネームまたは既知の識別情報（Eメール アドレスなど）でデータを検索して、レポートをダウンロードできます。

このレポートを使うことで、GDPR などのデータ プライバシー保護規則を遵守できます。データ主体を検索すると、BlueXP 分類サービスは、その人の名前や識別情報が含まれるファイルを洗い出します。検索が完了したら、見つかったファイルの一覧をダウンロードして、DSAR レポートを作成できます。レポートでは、データから得たインサイトを集約し、法的な用語に置き換えて、監査人や対象者（データ主体）に送付できます。

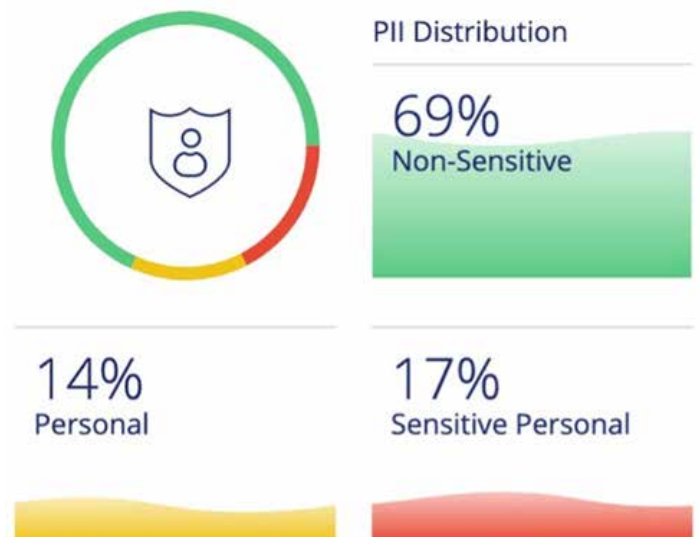


図 2 : NetApp BlueXP 分類サービスでの機密データの分類

Personal Results

27 Types | 47.6K Results found in All working environments

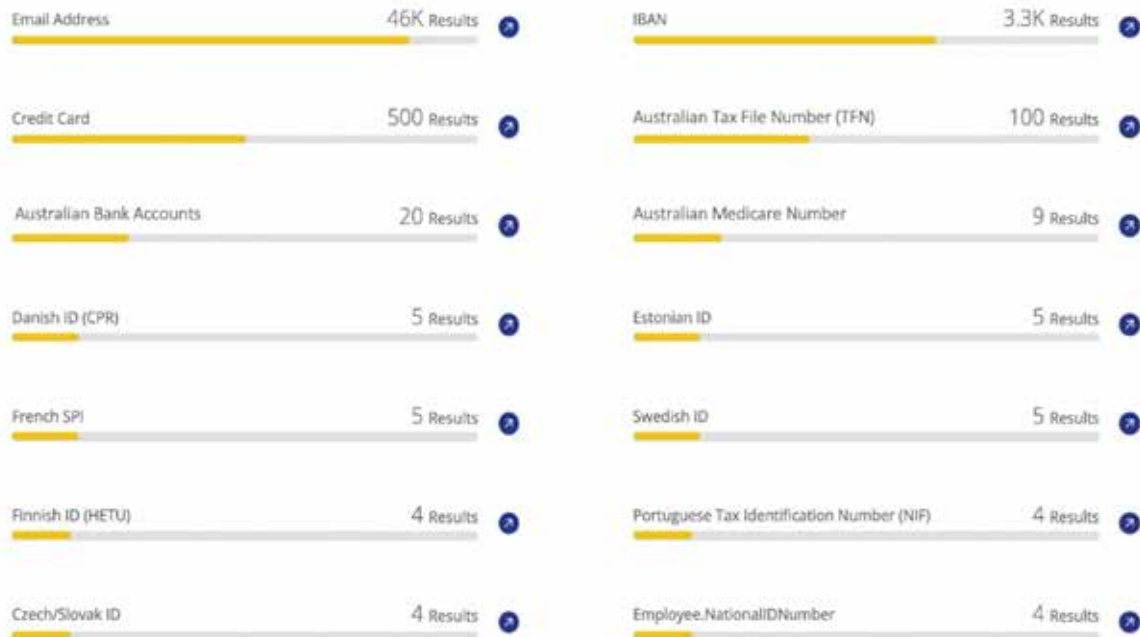


図 3 : BlueXP 分類サービスでの個人データのマッピング

プライバシー プログラムを分析

コンプライアンス目標を達成するための手作業の時間、コスト、エラーのリスクを削減するため、BlueXP 分類サービスは、事前フォーマット済みの法令に準拠したレポートまたはカスタマイズされたレポートを提供し、以下のようなコンプライアンスやレポートに関する多様なシナリオに対応します。

プライバシー リスク評価レポート

プライバシー リスク評価レポートでは、自社のプライバシー リスクの状態について、概要を把握できます。その必要性は、GDPR やカリフォルニア州消費者プライバシー法（CCPA）などのプライバシー保護規則でも定められています。

PCI DSS レポート

PCI データ セキュリティ基準（PCI DSS）レポートでは、クレジットカード情報が保存されているファイルを特定できます。

HIPAA レポート

Health Insurance Portability and Accountability Act（HIPAA）レポートでは、医療情報が記録されているファイルを特定でき、HIPAA のデータ プライバシー保護規則の遵守に役立ちます。

NetApp BlueXP 分類サービスを使用する主な理由

- **可視性の向上**
ダッシュボード 1 つで、NetApp ストレージ環境全体のデータの構成について、常に最新情報を把握できます。
- **コストの抑制**
重複データ、古いデータ、業務外のデータを特定し、排除することで、ストレージ コストを最適化します。
- **効率的な移行**
データ移行プロジェクトの前に、データの整理とクレンジングを行います。
- **コンプライアンスへの準拠**
時間のかかる個人情報の特定と、PCI DSS、HIPAA、GDPR、CCPA などのレポート作成を自動化します。
- **イノベーションの促進**
データをクリーンアップし、生成 AI や検索拡張生成（RAG）のオペレーションを稼働するためのすぐに使える資産を作成します。

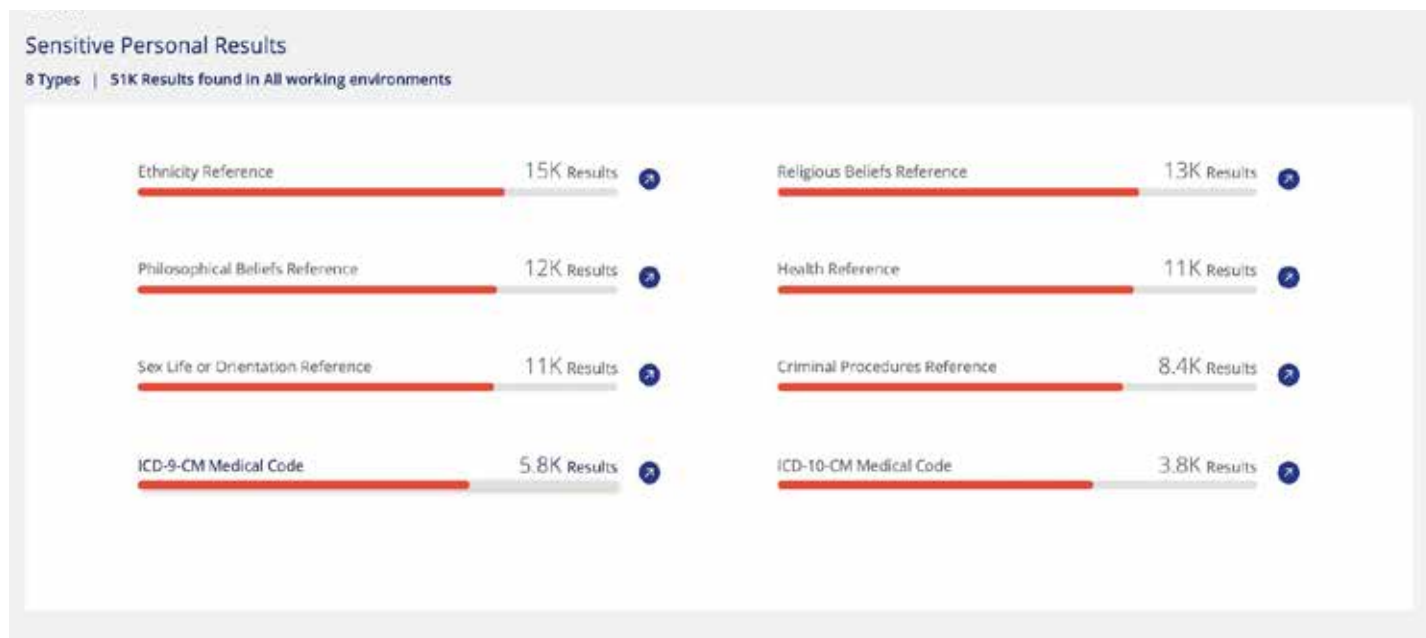


図 4 : BlueXP 分類サービスでのセンシティブな個人データのマッピング

「NetApp は『成熟度 / プラットフォーム プレー』象限に位置付けられており、基本的なデータ カタログだけではなく、多様なデータ ガバナンスのニーズに対応する包括的な機能セットを誇っています。AI と ML の統合へのコミットメントでは先進的なアプローチを示しており、AI 主体のデータ分析と自動化でユーザを支援しています。リーダーでありアウトパフォーマーである企業として、明らかに継続的なイノベーションを示し、近年、AI 機能の強化などの発展を果たしています」

「GigaOm Radar for Unstructured Data Management (UDM)」 (2024 年 3 月)



お問い合わせ

NetApp について

NetApp はインテリジェントなデータ インフラ企業として、ユニファイド データ ストレージ、統合データ サービス、CloudOps ソリューションを組み合わせて、混沌とした世界を変革し、あらゆるお客様にビジネス チャンスをもたらしています。NetApp はデータ サイロのないインフラを構築し、オブザーバビリティと AI を活用して最高のデータ管理を実現します。業界大手各社のクラウドにネイティブに組み込まれた唯一のエンタープライズクラスのストレージ サービスとして、NetApp のデータ ストレージはシームレスな柔軟性を提供し、データサービスは優れたサイバーレジリエンス、ガバナンス、アプリケーションの即応性を通じてデータの優位性を生み出します。CloudOps ソリューションは、オブザーバビリティと AI を通じてパフォーマンスと効率を継続的に最適化します。データの種類、ワークロード、環境を問わず、NetApp がデータ インフラを変革し、ビジネスの可能性を現実のものにします。詳細については、www.netapp.com/ja/ をご覧ください。

